

市宿集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、実質化した人・農地プランが作成された。その結果に基づき、人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和3年3月31日

君津市長 石井宏子

記

1 会合の対象とした区域

市宿集落

2 会合の結果を取りまとめた年月日

令和3年2月27日

3 今後の地域の中心となる経営体の状況

・経営体数

法人	0 経営体
個人	3 経営体
集落営農	0 組織

4 今後の地域農業のあり方

農業経営の安定と農村環境保全のため、中心経営体への農地集積・集約化を目指し、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。

イノシシ被害が多発している地区は、市宿環境保全会が中心となって、共同作業により防護柵の設置と管理を行っていく。

風水害発生防止のため、集落全体で水田の貯留機能の発揮や畦畔崩落防止等の事前対応に努める。